



## 平成21年度総会の開催 米沢支部産業功労、特別顕彰受賞の皆さん

(社)米沢有為会米沢支部総会は、平成21年6月13日(土)午後2時から、ホテルサンルートで開かれました。議事では平成20年度庶務報告、収支決算を承認。平成21年度事業計画及び収支予算も原案通り可決しました。次いで役員改選があり、新陣容で21、22年度事業に取り組むことになりました(4ページに掲載)。

報告では、本会創立120周年記念事業について説明があり、盛り上げていくことを確認しました（次ページに記載）。

総会に引き続き、産業功労、特別顕彰の表彰式が行われ（教育功労該当なし）、産業功労受賞者によるロボット実演があり、その高い技術力に参加者一同はしきりに感心していました。

米次有馬公  
米次支那大より

第 19 号

平成21年8月1日

### 発行者

米沢有為会米沢支部

米沢市金池5-2-25  
0238-22-5111

夕食は夜中の十二時までひとりひとりの権利が残されており、十二時が過ぎれば、当日食べない人の分が平均で三人（四人分は残つておらず、それを誰が食べてもいいことになつてゐる。いつも十一時五十分頃になると、食堂に五、六人集まり順番待ちとなる。当然残りの個数よりもより集まる人数が多くれば食べられない人が出てくる。そこで私は残つたご飯を味噌汁に入れて「おじや」にしようと提案した。量はふくれるし、おかげも適当にお互い分け合えば、なんとか食えるもんだ。「おじや」「の味付けを私が最初にやつたが、意外と美味しいとの評判になり、毎夜十二時近くなると、先輩からお声がかかる。「本多、今夜もおまえのおじやを食べたい」と。もともとお世辞には弱い性格なのだ。

団塊の世代なので学生運動が一番激しく、我々多くの学生は授業もろくろく受けられなかつた時代でもある。寮には二年間お世話になつた。どうにか大学を卒業して、米沢で働くようになつて初めて、有為社会というのがなんだかわかつてきた。ならばお世話になつた寮時代を思い起こし、そして懐かしみ、少しくらいはお手伝いの真似事をやつてみようと、お引き受けした。昔から人に頼まれると、よく考えもしないで引き受けてしまふ悪い癖が、私にはある。還暦を過ぎてもこの癖が治らないので、今もつづいて困つてゐる。

べつに入りたくて入ったわけでもなく、友人いわく、「おまえの家は貧乏だから、そこへ行け」といわれ、そこまで言うなら面接にいってやる、などと今思えば何という罰当たりなことをいつていたんだろうと、友人には本当に感謝している。生まれて初めての東京暮らし、六帖の畳の部屋に机置き場の板置が付いていて、一年上の先輩と二人一部屋。最初はちょっとした緊張が、あつたものの、三日も暮らせばすぐ親しくなり、ラッキーなことにその先輩、性格は少し変わっているけれど、後輩の面倒見はよいほうで、何よりも金持ちだった。

私の大学は巣鴨にあり、乗車駅は京王線の「仙川駅」からで、寮から大学までの所要時間は一時間半くらい。寮からは小田急線の「成城学園駅」までバスでも行けるのだが、そのコースをとるのは、仕送りの額が多い人で、仙川駅コースを選ぶのは貧乏人が多かったようと思う。当時の運営は基本的には自治寮なので、すべて寮生の運営で行われれる。当時一ヶ月の寮費は食事付き(土日なし)で六五〇〇円だと記憶している。食事がまずいという人もいたが、私は年中腹が減つており、何を食べてもうまかった。

興譲館を卒業したのが昭和四十一年、一年浪人したので、入寮したのは翌年の四十二年になる。米沢有為会とはどんな団体かもしらず。そこに興譲館の寮が東京にあるとだけ聞いていた。そこで、私の友人が面接をするための手続きをすべてやつてくれた。

副支部長 本多和彥

寄宿舎創設百周年記念  
昭和四十一年四月東京興譲館入寮

## 米沢有為会米沢支部だより

# 産業功労者を表彰

支部総会の席上、産業功労者として、また特別顕彰として表彰された皆さんを紹介します。

## ▼高橋義昭さん

約三十年間にわたり、米沢地域の企業にソフトウェアやファームウェアの開発力の重要性を伝道されると共に、講習会や共同開発を推進しながら開発のできる人材育成を産業振興に努められた。



写真は開発されるなど、ものづくりのまち米沢の技術力の高さを全国にアピールされた。

## ▼西置賜産業会・ロボット開発グループ

グループは、製造業の後継者や技術者の人材育成、企業と地域間の連携強化、産業振興を目的として結成され、共同でロボット製作の開発を推

進し長井市のまちおこしに尽力。長井工業高校のロボット講座、少年少女のロボットセミナー、農業用除草ロボットの試作などを通して地域の産業振興や小・中・高校生にモノを作る楽しさを伝えている。

この活動は、自助での地域力振興のモデルとしてテレビや雑誌などで全国的に取り上げられている。

## 特別顕彰

### ▼竹田悠里さん

平成二十一年度全国高校総合体育大会フェンシング競技第五位

### ▼色摩勇太朗さん

平成二十一年度全国高校総合体育大会ライフル少年銃競技会チームライフル少年男子第八位、第四十六回全国高校ライフル射撃競技選手権大会男子十メートルS六〇J M第三位

### ▼島貫健大さん

平成二十一年度全国高校総合体育大会スリング競技個人六十六kg級第五位

### ▼横田和紀さん

第五十一回全国高校選抜レスリング大

一部 第四十回全国高校選抜ホッケー大会第三位  
▼南陽高校男子ソフトボール部 第三十四回東北高校男子ソフトボール選手権第一位  
(全国大会二回戦進出)

▼古瀬彩可さん

第二十四回山形県小学生陸上競技大会女子百メートル第一位(大会新記録)、共通女子二百メートル第一位

▼栗野りほさん

第十九回山形県小学生陸上競技大会女子一千メートル優勝(県小学生新記録)

▼長沼大智君

第二十四回山形県小学生陸上競技大会女子一千メートル優勝(県小学生新記録)

▼市立北部小学校リレーチーム(水泳)

第三十三回山形県選抜学童水泳記録会男子二三百メートルリレー優勝、男子二百メートルメドレーリレー優勝(メンバー大木拓海、鈴木智佑、長沼大智、大久保琳太郎)

会個人八十四kg級第五位、第三十五回東北総合体育大会レ

スリング・グレコローマンスタイトル第一位

## 本会創立120周年記念事業

◎120周年記念行事  
とき 21年11月15日(日)  
午後3時~

ところ 東京・都市センターホテル  
記念講演会 井上ひさし氏  
「米沢藩とおいたまの人たち、そして私」  
記念祝賀会ほか  
◎会誌120周年記念号の発行  
◎東京、仙台興譲館寮の補修など

平成21年8月1日

## 平成20年度 社団法人米沢有為会米沢支部会計決算書

自 平成20年4月1日  
至 平成21年3月31日

(収入の部)

項目	予算額 ①	決算額 ②	比較増減 ②-①	摘要	要
繰越金	640,149	640,149	0		
会費	2,000,000	2,054,000	54,000	通常会員会費 @3,000×461人 = 1,383,000 特別会員会費 @7,000×73人 = 511,000 賛助会員会費 @10,000×16人 = 160,000	
事業収入	320,000	335,000	15,000	支部総会懇親会会費 130,000 会員交流いも煮会会費 205,000	
諸収入	1,851	1,211	△ 640	預金利子	
(収入合計)	2,962,000	3,030,360	68,360		

(支出の部)

項目	予算額 ①	決算額 ②	比較増減 ②-①	摘要	要
本部費	1,000,000	1,027,000	27,000	会費納付金 2,054,000×1/2 = 1,027,000	
報酬	180,000	180,000	0	常務理事報酬	
会議費	200,000	266,740	66,740	理事会及び総会費	
旅費	20,000	0	△ 20,000		
印刷製本費	150,000	229,226	79,226	総会案内用葉書印刷代 講演会案内、出欠葉書及びチラシ等印刷 封筒印刷代他	
通信運搬費	350,000	312,985	△ 37,015	会誌及び支部により発送料他	
事業費	580,000	486,681	△ 93,319	表彰記念品及び筆耕料 講演会及び会員交流いも煮会費 支部により発刊(2回)	
消耗品費	50,000	37,288	△ 12,712	宛名ラベル、ゼロッフス代他	
食糧費	50,000	87,142	37,142	各種会議の折食事代他	
諸費用	10,000	7,390	△ 2,610	山林探察の折土産代他	
諸手数料	40,000	49,520	9,520	郵便振替手数料(年会費)他	
予備費	50,000	0	△ 50,000		
次年度繰越金	282,000	346,388	64,388		
(支出合計)	2,962,000	3,030,360	68,360		

(支出の部)

項目	予算額 ①	前年度予算 ②	比較増減 ①-②	摘要	要
繰越金	346,388	640,149	△ 293,761		
会費	2,306,000	2,000,000	306,000	通常会員会費 @3,000×538人 = 1,614,000 特別会員会費 @7,000×76人 = 532,000 賛助会員会費 @10,000×16人 = 160,000	
事業収入	320,000	320,000	0	支部総会懇親会会費 @4,000×30名 会員交流いも煮会会費 @4,000×50名	
諸収入	1,612	1,851	△ 239	預金利子	
(収入合計)	2,974,000	2,962,000	12,000		

## 平成21年度 社団法人米沢有為会米沢支部会計予算

自 平成21年4月1日  
至 平成22年3月31日

(収入の部)

項目	予算額 ①	前年度予算 ②	比較増減 ①-②	摘要	要
繰越金	346,388	640,149	△ 293,761		
会費	2,306,000	2,000,000	306,000	通常会員会費 @3,000×538人 = 1,614,000 特別会員会費 @7,000×76人 = 532,000 賛助会員会費 @10,000×16人 = 160,000	
事業収入	320,000	320,000	0	支部総会懇親会会費 @4,000×30名 会員交流いも煮会会費 @4,000×50名	
諸収入	1,612	1,851	△ 239	預金利子	
(収入合計)	2,974,000	2,962,000	12,000		

## 米沢有為会米沢支部だより

## リレー随想⑥

我が青春のふるさと  
～仙台興譲館寮の思い出



米沢市 高橋英機

私が入寮したのは、昭和三十九年の四月であり、その年は丁度、記念すべき東京オリンピックの開催の年であった。はじめての入寮生には、まず「大部屋」の試練が待っていた。大部屋は、十畳に四人の定員、一人当たり二畳の広さでの生活であった。布団を敷くと足の踏み場もなく、しかもそれ起きる時間、寝る時間がまちまちの生活リズムであったのに、狭さや不自由さをあまり感じないで生活できたのが不思議である。それだけお互いに密度の濃い触れ合いがあったからであろうか。住めば都というが、「何事も不自由を常と思えば：」の政宗公の心境でもあった。

寮生活は、一人一人の生活力も試される場でもあった。親元で他者依存の生活をしてきた者にとって、掃除・洗濯

・食事づくり（日曜日のみ）  
・風呂焚き（当番制）などを自力することは、初めは大変であったが、やっていくうちに徐々に慣れてきた。後年、教員として山間僻地で生活をする時の大きな支えになつたことに感謝している。

寮生活の楽しみは、遊びや語らいを通しての同世代の仲間との関わりそのものにあつた。娯楽室でのマージャン、囲碁・将棋、食堂での卓球、中庭でのバーレーボール等、それぞれの好みにより参加し楽しんでいた。

今、寮生活全体を振り返って思うことは、単に、金銭的に助かったというだけでなく、同世代の方々との触れ合いの中で、書物の中だけでは得られない人間関係力の基礎を自然に体得できたことが最大の収穫であったと思っている。

## 米沢支部役員（二十・二十一年度）

〔総務部〕上村勘二	〔副部長〕安部三十郎	〔副支部長〕高橋勉	〔組織部〕副＝遠藤善則
〔支部監事〕梅津幸保・本多和彦	〔副部長〕高橋幸一	〔副部長〕高橋和彦	〔副部長〕加藤善則
〔支部常務理事〕中條良文・淀川泰正	〔副部長〕鈴木幸一	〔副部長〕小野庄士	〔副部長〕江川真琴
〔我妻榮記念館館長〕	〔副部長〕上杉季雄	〔副部長〕後藤浩	〔副部長〕柴田栄助
〔文化広報部〕光雄、副＝山口弘子	〔副部長〕上村勘二	〔副部長〕柴田正孝	〔副部長〕柴田孝

## ～活躍する会員紹介～⑦

国指定史跡・米沢藩主上杉家墓所

玉上利恭さん

大河ドラマ「天地人」でにぎわう上杉家御廟所を訪れ、玉上所長に話をうかがいました。

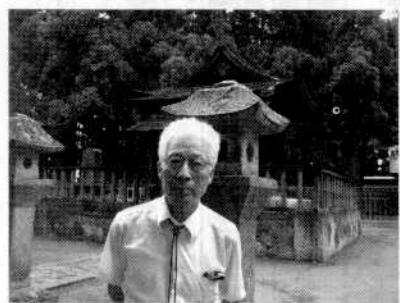
（Q）「天地人」ブームになっていますが、その効果はいかがですか。（A）テレビによるPR効果は大きく、例年より2・5倍ぐらいの参拝者かと見ています。もっとも上杉神社や伝国の社などはすごいようです。

（Q）参拝者に変化を感じますか。（A）受付で「どちらから」と聞いていますが、千葉、神奈川、埼玉など関東地区からの客が目立ちます。もちろん新潟、福島からも。謙信公、鷹山公の人気は変わりませんが、景勝公にも注目が集まっています。

（Q）上杉家廟所は年輪を重ねており、維持管理もかなり大変で気をつかうと思います。（A）保存修理事業は、国県市の助成を得ながら年次計画で実施しています。平成6年から平成19年にかけて大改修し、謙信公廟ほか歴代藩主の廟所の補修や環境整備、防災工事などを実施しました。総事業費は5億円を超しています。

（Q）これからの計画はどうですか。（A）平成6年からの大改修でひと通り補修されましたので、大切にすれば30年近くは大丈夫かなと思っています。ただ拝殿、水屋の修理、大型バスにも対応できる駐車場など、まだまだ課題は尽きませんね。

（Q）スタッフは何人で対応していますか。（A）職員5人とボランティアガイド3人で受付からガイドまで交替で対応しています。夏休みや高速料金千円などで、家族づれも増加しており、説明にも熱が入っています。これからも頑張ります。



## 編集後記

▼今夏は異常気象らしい。気象によると、七月は降水量が多く、日照時間の少ない日が続き、約三十年に一度の気象だったという。ニュースでも集中豪雨やたつ巻による被害が相次いだ。開かれたアパートが豪雨や雷雨にあり中止、中断が相次いだと聞く。支部だよりが届くころには、うまいビールが飲めるだろうか。